

発刊にあたって

社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団

理事長 中塚 洋一

この度、かがわ総合リハビリテーションセンター会誌の第一号が発刊されることになりました。誠に喜ばしいことです。最初に、ご寄稿いただきました岡山大学医歯薬学総合研究科生体機能再生・再建学講座（整形外科学）教授の尾崎敏文先生に厚く御礼申し上げます。

この会誌の発行は今井正信前理事長の発案です。「センターは良質な医療と福祉を行っていると思うが、外部の人々に十分認知されていない、また、センター内部においても、他の部署の仕事内容を良く知り、理解することが必要である」と。今井先生はセンターに欠けていた状況を的確に見抜き、会誌の発刊が必要であると、何度も私におっしゃいました。ここに第一号が発刊され、私自身も気の引き締まる思いです。ひとえに今井先生のご指導、ご鞭撻の賜物です。

さて、当センターは昭和61年4月に香川県により設立され、平成18年4月からは指定管理者制度の導入により、名称を「香川県身体障害者総合リハビリテーションセンター」から「かがわ総合リハビリテーションセンター」に変更しています。これは身体障がい者のみならず、リハビリテーションを必要とする様々な障がいを持った方々や高齢者を含めた一般の方々にも利用していただきたいと考えたからです。香川県から派遣されていた約100名の職員は、指定管理の始まりから段階的に県機関に異動となり、現在はかがわ総合リハビリテーション事業団採用の職員のみとなっています。県立民営といった形態をとりますが、今後も香川県との間の密接な連携が必要です。平成23年4月1日現在の職員数は260名になりました。利用される皆様からリハビリテーションの要望が強く、ここ数年は特に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を増員しています。

当センターは医療と福祉の複合施設です。冒頭に述べましたように、それぞれの部署が何をやっているのかを理解し、かつ連携することが必要です。この会誌の発行が今後、どのような形で実を結ぶかは、私たちセンター職員のセンターを思う意識に関わってくると思います。医師の投稿は、それぞれの専門分野を周知する良い機会となるでしょう。回を重ねるにつれ、コメディカルを含む医療職、福祉職、事務職の皆さんの投稿が増えていくことを望みます。外部への発信のみならず、個々の職員の資質の向上や、センター機能の充実、発展ができれば、素晴らしいことです。理事、評議員、アドバイザー、関係機関の皆様やご利用くださる方々のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

第一号ですので、色々と不備な点多いかと思いますが、ご容赦ください。最後に、本会誌の作成に直接御尽力いただいた編集委員会の皆さんに感謝します。